

# CHP モデル

カップリング

ETP プッシュ

電磁クラッチ・ブレーキ

変・減速機

インバータ

リアシャフトドライブ

トルクリミッタ

ロスタ

シリーズ

金属板ばねカップリング  
サーボフレックス

リジッドカップリング  
サーボリジッド

金属スリットカップリング  
ヘリカル

金属コイルばね  
カップリング  
パウマンフレックス

ピン・プッシュ  
カップリング  
バラフレックス

リンク式カップリング  
シュミット

積層ゴムカップリング  
ステップフレックス

ゴム・樹脂カップリング

ジョーカップリング  
スターフレックス

ジョーカップリング  
スパフレックス

樹脂ベローズカップリング  
ベローフレックス

原動機用ゴム・樹脂  
カップリング  
センタフレックス

モデル

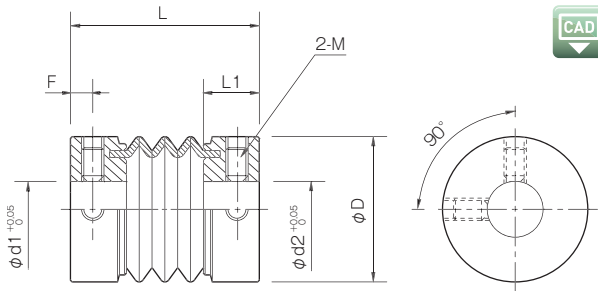
CHP

## 仕様

型式	トルク		許容誤差			最高回転速度 [min <sup>-1</sup> ]	静的ねじり ばね定数 [N・m/rad]	慣性モーメント [kg・m <sup>2</sup> ]	質量 [kg]	標準穴径 価格 [円]
	常用 [N・m]	最大 [N・m]	偏心 [mm]	偏角 [°]	軸方向 [mm]					
CHP-20	0.4	0.8	0.5	10	± 0.5	9000	5.9	6.30 × 10 <sup>-7</sup>	0.012	1,430
CHP-26	0.7	1.4	0.5	10	± 0.5	7000	12.5	2.40 × 10 <sup>-6</sup>	0.026	1,760
CHP-34	1.5	3.0	0.5	10	± 0.5	5500	32.8	7.90 × 10 <sup>-6</sup>	0.051	2,090

※静的ねじりばね定数の値は、20℃の時の値です。  
※慣性モーメントおよび質量は、最小穴径時のものです。

## 寸法



単位[mm]

型式	d1・d2		D	L	L1	F	M
	最小	最大					
CHP-20	3	8	20	28	8	3	M3
CHP-26	6	13	26	34	10	4	M4
CHP-34	8	18	34	40	12	5	M5

※CHP-20で穴径φ3との組み合わせの場合、止めねじ開き角度は120°になります。

型式	標準穴径 d1-d2 [mm]					
	3-3	5-5	6-6	8-8	10-10	12-12
CHP-20	●	●	●			
CHP-26			●	●	●	
CHP-34				●	●	●

※相手取り付け軸の寸法許容差はh8級です。  
※標準穴径以外は、追加対応となります。

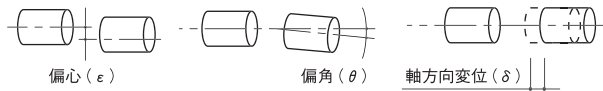
ご注文に際して

CHP-26 8-8  
サイズ ———— 穴径:d1-d2

## 設計上の確認事項

### ■ 取り扱い上の注意

- 使用可能温度範囲は-20℃～60℃です。ベローフレックスカップリングは耐水・耐油性はありますが極度の付着は劣化の要因となりますので避けてください。また、直射日光下での使用や保管は、製品の寿命を縮める可能性がありますので、適当なカバーで覆ってください。
- 穴の追加加工を行う際は、ハブが変形しないよう注意し、切削粉がブーツ内に入らないようにしてください。
- カップリングの性能を十分に発揮するため、運転中のカップリングの心違いが仕様表の許容誤差の範囲となるように取り付けを行ってください。ただし、この許容誤差はそれぞれ単独で発生した場合の最大値ですので、複合した場合の許容値は、50%以下としてください。



- 軸およびカップリング内径面のさび、ほこり、油分などを除去してください。
- カップリングに軸を挿入する際には、カップリングに必要な以上の曲げ・引っ張り・圧縮の荷重を与えないようご注意ください。また、軸のカップリングへの挿入長さは、寸法表のL1寸法としてください。
- 六角穴付き止めねじは、必ず校正されたトルクドライバなどを使用し次の締め付けトルクで締め付けを行ってください。

六角穴付き止めねじサイズ	M3	M4	M5
締め付けトルク[N・m]	0.7	1.7	3.6

### ■ 選定手順

- 駆動機の出力容量：P、使用回転速度：nからカップリングに加わるトルク：Taを求めます。

$$Ta \text{ [N・m]} = 9550 \times \frac{P \text{ [kW]}}{n \text{ [min}^{-1}\text{]}}$$

- 使用条件、運転条件などによるサービスファクター：Kを決定し、カップリングに加わる補正トルク：Tdを求めてください。

$$Td \text{ [N・m]} = Ta \times K1 \times K2$$

#### ■ 負荷の性質による補正係数：K1

負荷の性質	一定	変動：小	変動：中	変動：大
K1	1.0	1.25	1.75	2.25

#### ■ 雰囲気温度による補正係数：K2

温度[℃]	-20	0	+20	+40	+60
K2		1.0		1.2	1.3

- カップリングの常用トルク：Tnが補正トルク：Td以上となるようにサイズを選定してください。

$$Tn \geq Td$$

- カップリングの最大トルク：Tmが駆動機、従動機または双方から発生するピークトルク：Ts以上となるようにサイズを選定してください。最大トルクとは一時的にかかって良いトルクであり、一日8時間運転とした場合、最高10回程度をいいます。

$$Tm \geq Ts$$

- 必要とする軸径が選定サイズの最大穴径を超える場合は、それに適合するカップリングを選定してください。